

Ⅲ 県外観光客動態調査

1 概要

●はじめに

これまでは、各地域の観光または商工関連団体等に委託してアンケート調査を実施していたが、調査精度の均一化を図ることや調査結果に対する分析を行うことを目的として、調査方法の変更を行った。

平成19年の調査から観光関連業務経験を持つ委託事業者（1社）の調査員による対面聞き取り方式のアンケート調査を採用し、あわせて調査箇所についても見直しを行い、10地区から8地区（モネの庭、中津溪谷を廃止し、室戸岬、龍河洞、ゆとりすとパークおおとよ・道の駅大杉、桂浜、土佐和紙工芸村、黒潮本陣、四万十川観光開発 観光遊覧船乗場、足摺岬）に変更して実施した。

とりまとめにあたっては、アンケート調査に基づく全般的な傾向等について記載するとともに、それぞれの調査項目について、その特徴的な事項の説明を加えた。また、別記として観光客のコメント（抜粋）を記載することにより、特徴的な意見のとりまとめを行った。

なお、暦年の調査のため、参考資料は冬春夏秋の順に表示している。

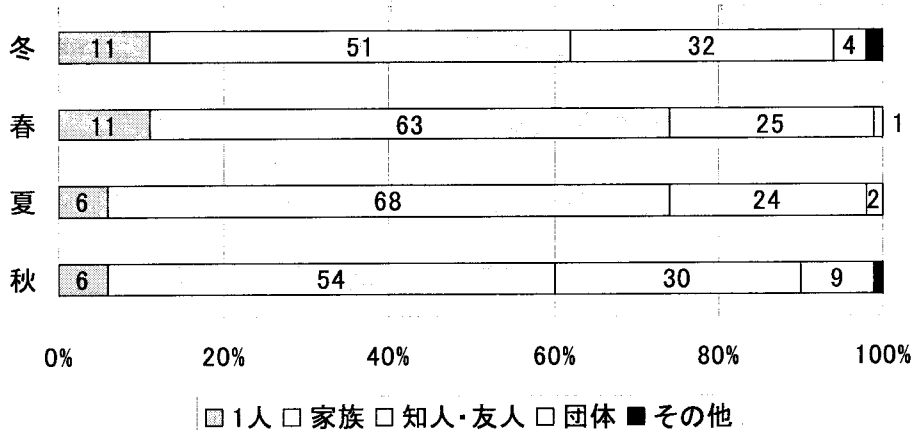
●個人旅行が圧倒的に多い高知県

今回の調査で改めて個人旅行、特に家族旅行が多いことが判明した。また若者層で特定の目的（サーフィンやカヌー、バイク・ツーリング、キャンプなどアウトドア系）を持った旅行者が多いことも特徴といえる。その観光客が本県を訪れたきっかけは、専門誌から情報を得たのではなく、口コミ情報が広がっている印象であり、旅行者の多くが「PRを上手にすればもっと全国から人が集まるのでは」という好意的な意見が出されている。

【参考1】四季別旅行形態割合（％）

旅行形態 時期	1人	家族	知人・友人	団体	その他
冬	11	51	32	4	2
春	11	63	25	1	0
夏	6	68	24	2	0
秋	6	54	30	9	1
年間	8	59	28	4	1

【参考1】四季別旅行形態割合(%)



●観光客の四季別傾向

- 冬：正月前後は家族旅行が、それを過ぎると友人知人による日帰り旅行などが多かった。
- 春：GW 期間は、家族旅行や友人同士らの旅行が多かった。また、四国十八ヶ所まわりやバイクでのツーリングも目立った。
- 夏：よさこい、帰省、アウトドア（サーフィンやキャンプ）を目的に来た方が多かった。
- 秋：龍河洞や桂浜、四万十川などで団体客が目立った。団体客は、旅行会社の四国内を周遊するツアーや、一泊二日の職場旅行、町内会やサークル仲間の日帰り旅行などである。

●旅行の目的は「食」が多かった

今回の旅行の主な目的として「地元の食べ物」の声が多かった。特にカツオのタタキのおいしさを絶賛する意見が多く、カツオを食べに高知へ来たという家族が多数あり、また高知市内の宿泊者からは、居酒屋でも料理がおいしいし、ひろめ市場の雰囲気もいいとの意見がだされた。

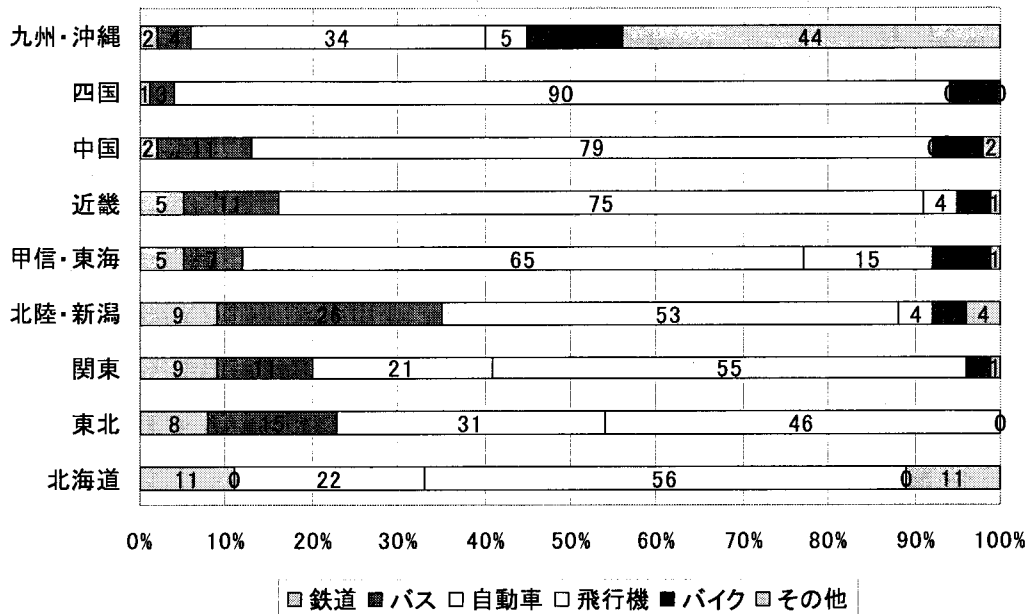
今後の取組みとしては、カツオのタタキ以外の食の情報をどのように発信していくかが課題である。

●高速道路が整備されてきたが、料金が低い

高速道路のアクセスの整備に伴い、本県に車で訪れる観光客は、中四国地方や関西地方に加え、中部地方あたりまで広がりを見せている。しかし観光客からは、四国に渡る時の瀬戸大橋、明石・淡路などの本四架橋代の高さに不満の声が聞こえ、「橋代が半分になれば」という感想も多かった。

四国・高知へのリピーター客を増やすためにも、四県が共同で取り組む課題として検討が必要である。

【参考2】発地別入込利用交通機関別割合(%)



バス：観光・貸切・路線バス 自動車：自家用車・レンタカー その他：フェリー、自転車、徒歩など

●観光案内看板への意見

ETC やカーナビを取り付けている車が多く、主な観光地まではナビが誘導してくれるので、観光案内看板については「あまり見ないのでわからない」という声も多くあった。反面、ナビを使わず案内板を利用している観光客の方からは、「わかりやすい」と「わかりづらい」の両方の意見がだされた。

特に郡部に行くとナビの有無にかかわらず不安になる部分もあり、四万十川の「佐田の沈下橋」などは「迷った」、「狭い道に入っていった」などの声が寄せられた。また、足摺岬は清水まで3つのルートがあり、どのルートが最も適当であるかの情報がないことや、室戸岬などの遊歩道の案内板を整備すべきなどの意見も受けた。

ナビを利用する場合は目的地までは誘導されるので、その近辺へ着いてからの満足度を高める必要があるようだ。また、ナビを利用しない方の場合、使う側の立場に立って誘導してくれる案内板の要望の声が多かった。

●平成 19 年の調査を振り返って

冬の 12 月 31 日～1 月 2 日は観光客も多いが、その前後（特に年末）は少なかった。GW は観光客の多さが目についた。夏、秋もお盆や連休などに調査したが、GW のような集中した人出ではないものの、多かった。一年を通じたアンケートから、特に 12 月～2 月の冬場の時期に観光客を誘致する魅力づくりについて、関係者による検討が必要であると言える。

2 年代別入込割合

(表 3-1) 年代別観光客割合 (%)

年 年代	16年	17年	18年	19年	対前年比 19年/18年
10 代	2	3	3	2	67
20 代	25	24	23	21	91
30 代	23	23	24	26	108
40 代	16	16	16	18	113
50 代	19	19	20	20	100
60代以上	15	15	14	13	93

今回の県外観光客動態調査では、アンケートはすべて対面であり、1グループに1名(1回答)を徹底した。その中で家族旅行では金額などの設問があるため、どうしても家計を握る親世代が回答するケースが多くなり、対前年比の比較では10代・20代・60代の数値より、30代・40代が高くなったと思われる。従って、実際は若者層の観光客がもう少し多いのではないかと予測される。

3 日帰り客と宿泊客割合

(表 3-2) 年次別日帰り客・宿泊客割合 (%)

年	宿泊数					
	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊以上
19年	30	45	16	4	2	3
18年	28	47	17	4	2	2
17年	28	52	14	3	1	2
16年	26	43	20	6	2	3
15年	33	40	18	4	2	3

(表 3-3) 四季別日帰り客・宿泊客割合 (%)

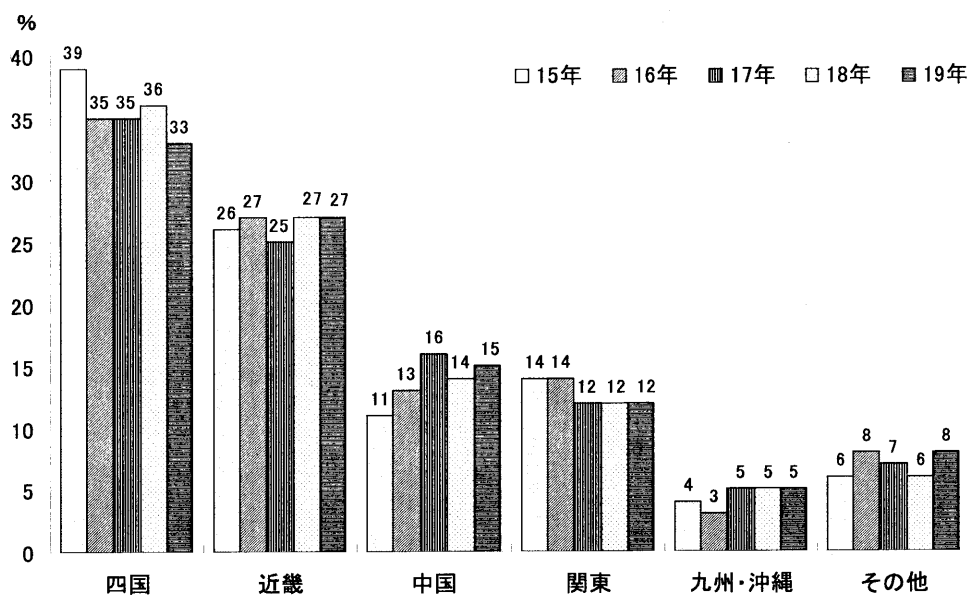
季節	年	宿泊数					
		日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日以上
冬	19年	28	47	17	4	2	2
	18年	27	55	13	3	1	1
春	19年	34	39	19	4	2	2
	18年	34	42	16	4	2	2
夏	19年	26	41	18	7	4	4
	18年	24	45	21	5	2	3
秋	19年	33	54	9	1	1	2
	18年	28	49	17	4	1	1

本県への観光は平成 18 年、19 年とも、日帰りと 1 泊 2 日の旅行を合わせると 75%を占めている。その中でも 19 年の特徴は 1 泊 2 日の旅行が減り、日帰り旅行と、2 泊 3 日以上長期滞在の旅行が若干ではあるが割合が増えている。日帰り旅行の増加はガソリン価格の急騰などによる影響で、旅行日数の差し控えが原因として考えられる。

家族旅行などの個人旅行や、旅行会社のツアーは別として、社員旅行は一泊二日、町内会旅行などは日帰りが多く、ともに「もう一泊してもらおう」ための工夫が必要と考えられる。

4 発地ブロック別入込

(図3-4) 発地ブロック別割合 (%)



(図3-4) 発地ブロック別

	四国	近畿	中国	関東	九州・沖縄	その他
15年	39	26	11	14	4	6
16年	35	27	13	14	3	8
17年	35	25	16	12	5	7
18年	36	27	14	12	5	6
19年	33	27	15	12	5	8

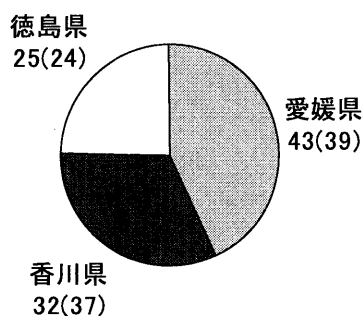
【参考】 19年発地ブロック別その他の割合 (%)

	北海道	東北	北陸・新潟	甲信・東海
19年	5	7	13	75

* その他8%の内訳を100%にて表示

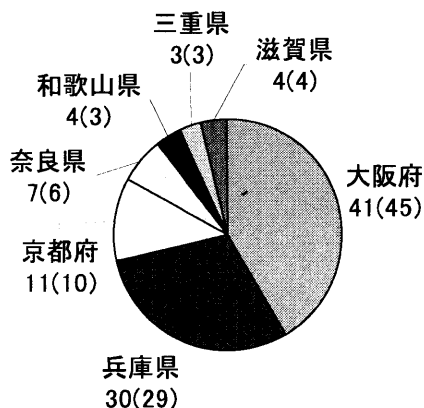
例年とほぼ変わらない数値になった。しかし特徴もあり、アンケートの回答者は九州・沖縄地方より、愛知県を中心とする甲信越・東海地方の方が多いという結果になった。これは高速道路の整備が進んだことに伴い、自動車利用による観光の範囲が四国（高知）まで広がったものと推測される。また、四国八十八ヶ所を巡礼するお遍路さんの数も増加していると考えられる。

(図 3-5-1) ブロック別・四国 (%)



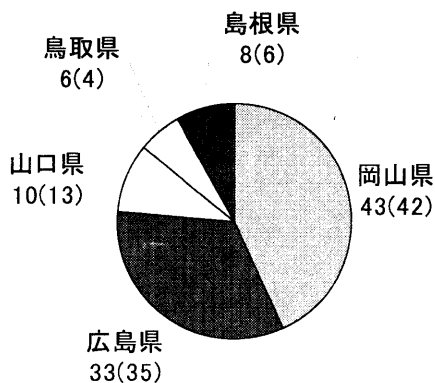
どの調査地点でも多かったのが愛媛県からの観光客だった。いの町の土佐和紙工芸村は通過点として多いのは当然として、中土佐町黒潮本陣も目立った。徳島県の観光客は、室戸岬や大豊町（ゆとりすとぱーく・道の駅大杉）の日帰り観光が多かった。

(図 3-5-2) ブロック別・近畿 (%)



数値的には大阪府が落ちて、それ以外の関西地区が平均的に伸びた結果となった。これは大阪周辺の地域からの入込みが増えた結果だが、高速道路が整備されて行動範囲が広がり、四国（高知）が観光地として認識されてきた結果ではないか。関西から四国へは、淡路～鳴門自動車道ルートから入ってくる観光客が多い模様。

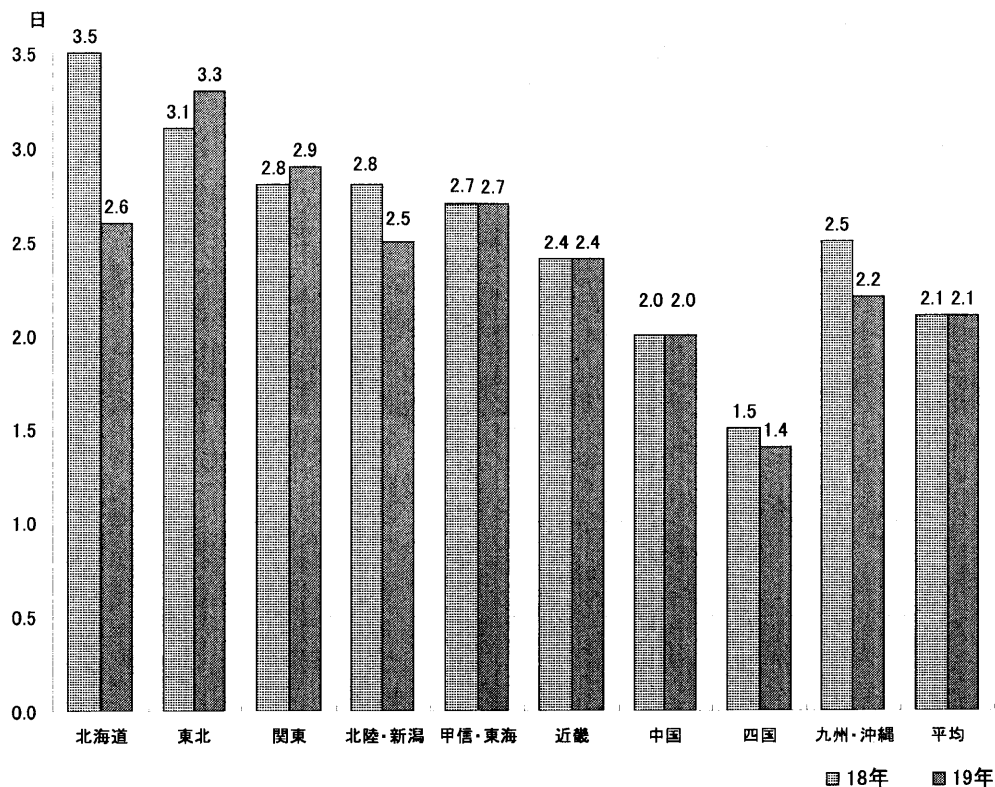
(図 3-5-3) ブロック別・中国 (%)



山口・広島が減り、日本海側の鳥取・島根が増えている結果となった。岡山県からは桂浜・龍河洞・黒潮本陣などへの日帰りが多く、一泊したくなる情報提供が必要と考えられる。

5 旅行日数

(図3-6) 発地ブロック別県内旅行日数 (日)



前年と比べて変動が大きかったのは北海道だが、サンプル数が少ないので一つの回答で数値が大きく変動する要素がある。観光客が多い四国・中国・近畿方面はほぼ前年と同じ旅行日数になっている。これをどう伸ばしていくかが課題である。

(表3-7) 年代別旅行日数(加重平均)

単位: 日

年次 年代	19年	18年	17年	16年	15年
10代	2.3	2.0	2.2	2.2	2.4
20代	2.2	2.1	2.0	2.2	2.2
30代	2.1	2.1	2.0	2.4	2.1
40代	2.1	2.1	2.0	2.3	2.0
50代	2.0	2.0	1.9	2.1	2.0
60代以上	2.1	2.0	2.1	2.3	2.0
全体	2.1	2.1	2.0	2.3	2.1

全体の平均は2.1日と昨年と同じ数値になった。平成16年は若干高かったが、ここ数年は、ほぼ同じ数値で移行している。これを伸ばすことが県内消費額に直結するので、産業振興計画などにより、将来的な戦略を持って対応する必要がある。

6 旅行目的

(表 3-8) 旅行形態別旅行目的割合 (%)

形態		目的	自然見物 ・町歩き	名所旧跡 観光施設	休養・慰安	食べ物	神仏・霊場 巡り	その他
1 人	19年		19	19	3	3	8	48
	18年		32	19	7	5	6	31
	17年		41	11	7	3	8	30
家 族	19年		23	28	6	8	5	30
	18年		25	23	15	5	6	26
	17年		28	20	14	8	9	21
友人・知人	19年		22	23	4	16	3	32
	18年		24	20	11	12	3	30
	17年		35	18	13	9	3	22
団 体	19年		16	33	21	2	1	27
	18年		17	35	23	3	2	20
	17年		12	27	29	5	5	22
そ の 他	19年		6	25	0	0	0	69
	18年		13	12	6	0	19	50
	17年		3	7	2	71	9	8
全 体	19年		22	26	6	9	5	32
	18年		25	22	13	7	5	28
	17年		30	19	14	9	7	21

【参考】 旅行目的割合 その他の内訳 (%)

* 19年のその他32%を100%として内訳の割合を表示

その他の旅行目的	イベント	スポーツ	買い物	キャンプ	なんとなく	帰省	その他
19年 全体	7	5	2	10	33	32	11

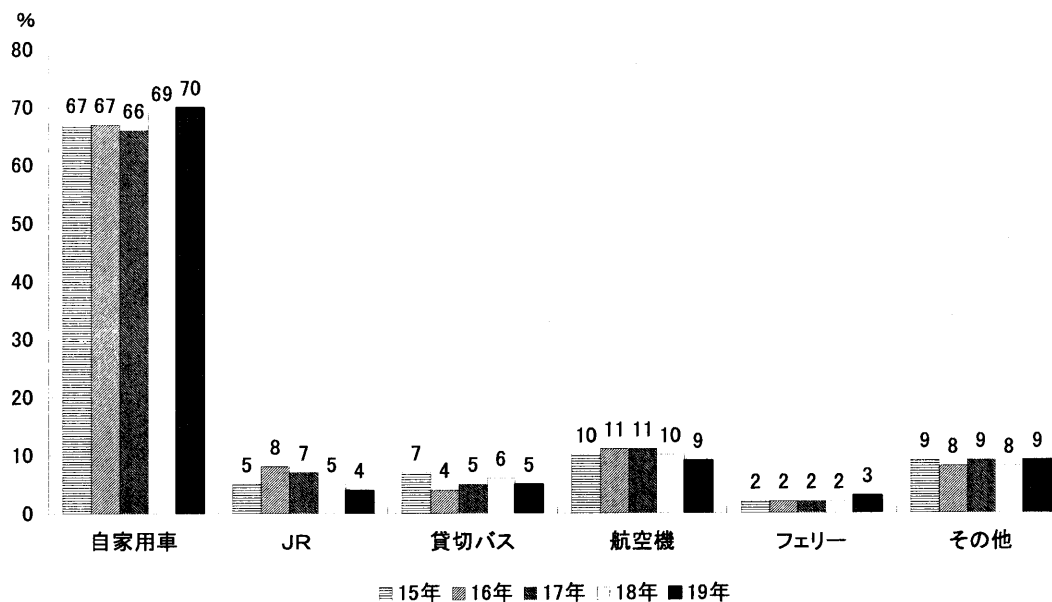
本県への旅行目的の特徴は、自然見物・町歩きや名所旧跡・観光施設が半数近くを占めていることである。特に団体旅行は名所旧跡・観光施設の割合が高い数値になっている。

友人・知人などの個人旅行は、「食べ物」を目的とした旅行が年々増えており、カツオのタタキをはじめとした魚介類のおいしさに対する感想も多く寄せられた。

また、その他の目的を見ると、ドライブを含むなんとなくや、帰省、キャンプなどが上位にある。

7 入込利用交通機関

(図3-9) 入込利用交通機関別割合の推移 (%)



入込利用交通は自動車での来県が圧倒的に多く、これは例年通りの数値となった。高知県の観光をPRする場所や方法（メディアの使い方を含める）を考えるヒントになると考えられる。また、受入れ側の施設（宿泊施設や観光施設、観光協会など）は、運転者にとって必要な交通アクセス、駐車場、ガソリンスタンド、観光地案内板の設置など、キメ細かい情報提供を考えていく検討が必要である。

8 旅行形態

(表 3-10) 年代別旅行形態別割合 (%)

旅行形態		1人	家族	友人知人	団体	その他
年代						
10代	19年	25	33	40	2	0
	18年	14	39	34	13	0
20代	19年	12	19	66	2	1
	18年	12	19	64	4	1
30代	19年	9	61	25	4	1
	18年	10	53	33	3	1
40代	19年	5	76	15	3	1
	18年	10	61	23	5	1
50代	19年	7	75	12	5	1
	18年	8	62	22	7	1
60代以上	19年	5	76	11	7	1
	18年	10	59	16	14	1
全体	19年	8	59	28	4	1
	18年	10	49	34	6	1

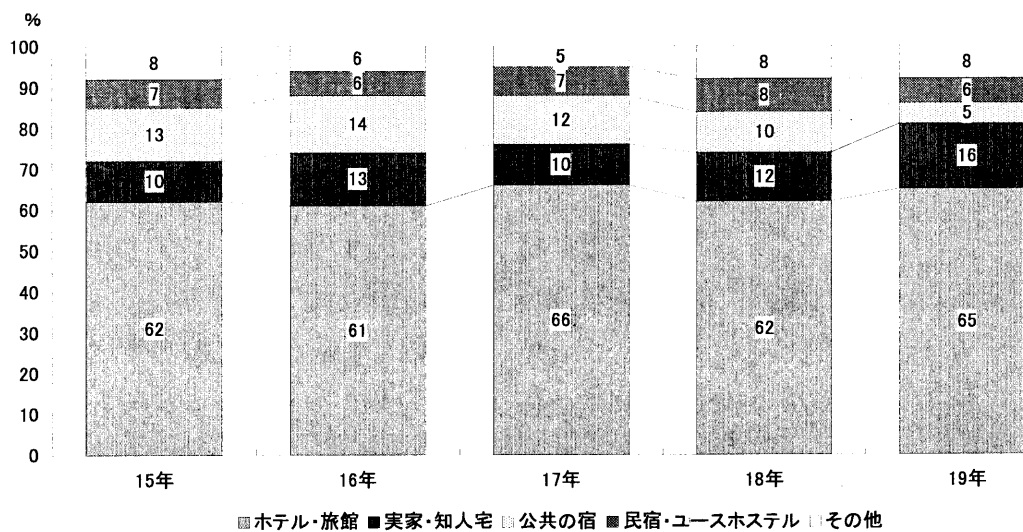
(表 3-11) 年代別同行者数 (%)

旅行形態		1人	2~3人	4~5人	6~10人	11人以上
年代						
10代	19年	25	44	27	2	2
	18年	14	38	31	7	10
20代	19年	12	67	16	4	1
	18年	12	69	14	3	2
30代	19年	9	56	27	5	3
	18年	10	51	29	7	3
40代	19年	5	45	39	8	3
	18年	10	50	29	8	3
50代	19年	7	61	25	3	4
	18年	8	59	22	6	5
60代以上	19年	6	63	18	6	7
	18年	10	55	15	7	13
全体	19年	8	58	26	5	3
	18年	10	57	22	6	5

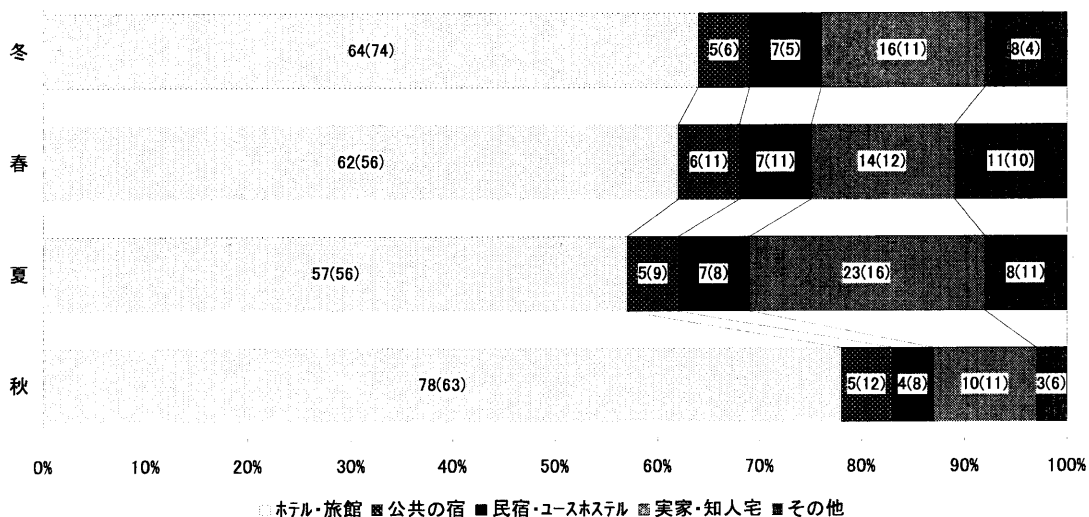
家族旅行の場合、誰に話を聞くかによってこの比率の変動があると思われる。1 グループ 1 回答の性格上、家族で訪れている場合に金額などの設問があるため、親が回答するケースが多かった。10 代の一人旅はバイク、徒歩（四国八十八ヶ所）などが印象に残る。全体で見ると、2～3 人の旅行（大半が家族旅行と友人・知人）が多かった。

9 利用宿泊施設

(図3-12) 県内利用宿泊施設別割合 (%)



(図3-13) 四季別県内利用宿泊施設別割合 (%)



アンケートの調査期間が、お盆など長期の休み時期に行った関係からか、夏に帰省のため実家または知人宅に宿泊した数値が上がっている。それが年間を通じた結果にも表れたのではないかと考えられ、その反面、公共の宿の数値が下がる結果となった。

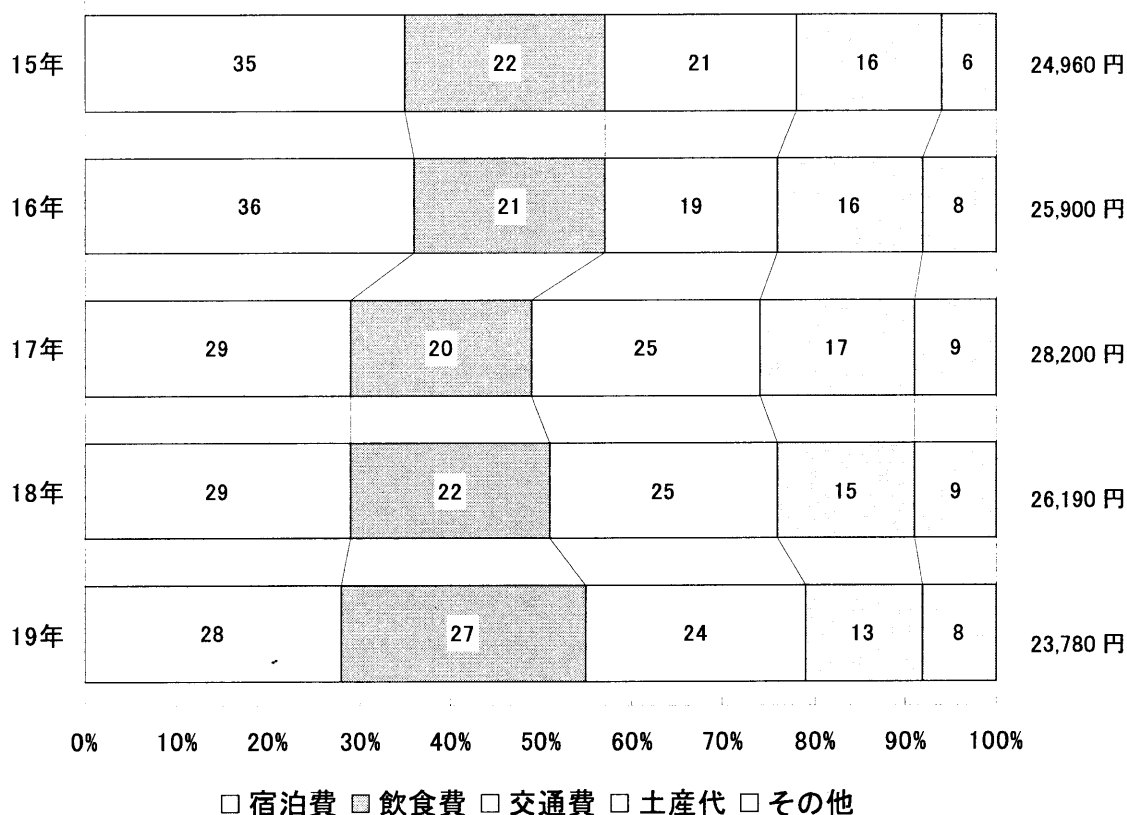
(表 3-14) 年代別県内利用宿泊施設別割合 (%)

年代		宿泊施設	ホテル・旅館	公共の宿	キャンプ場	民宿・ユースホステル	実家・知人宅	その他
10 代	19年		48	9	5	12	21	5
	18年		49	14	5	16	14	2
20 代	19年		58	3	3	9	15	12
	18年		58	5	6	10	16	5
30 代	19年		61	5	4	8	16	6
	18年		58	10	7	8	13	4
40 代	19年		67	5	3	3	18	4
	18年		60	13	3	7	14	3
50 代	19年		68	4	1	5	20	2
	18年		71	10	2	6	9	2
60代以上	19年		73	8	1	6	10	2
	18年		70	11	1	6	8	4
全 体	19年		65	5	2	6	16	6
	18年		62	9	4	8	13	4

前問と同じように、どの世代も公共の宿の数値が下がっている。その他キャンプ場、民宿・ユースホステルなども若干下がった。その分40代世代のホテル・旅館の数値があがっており、幅広い世代で実家・知人宅の数値が上がっている。

10 県内消費額

(図3-15) 県内消費額別割合 (%)



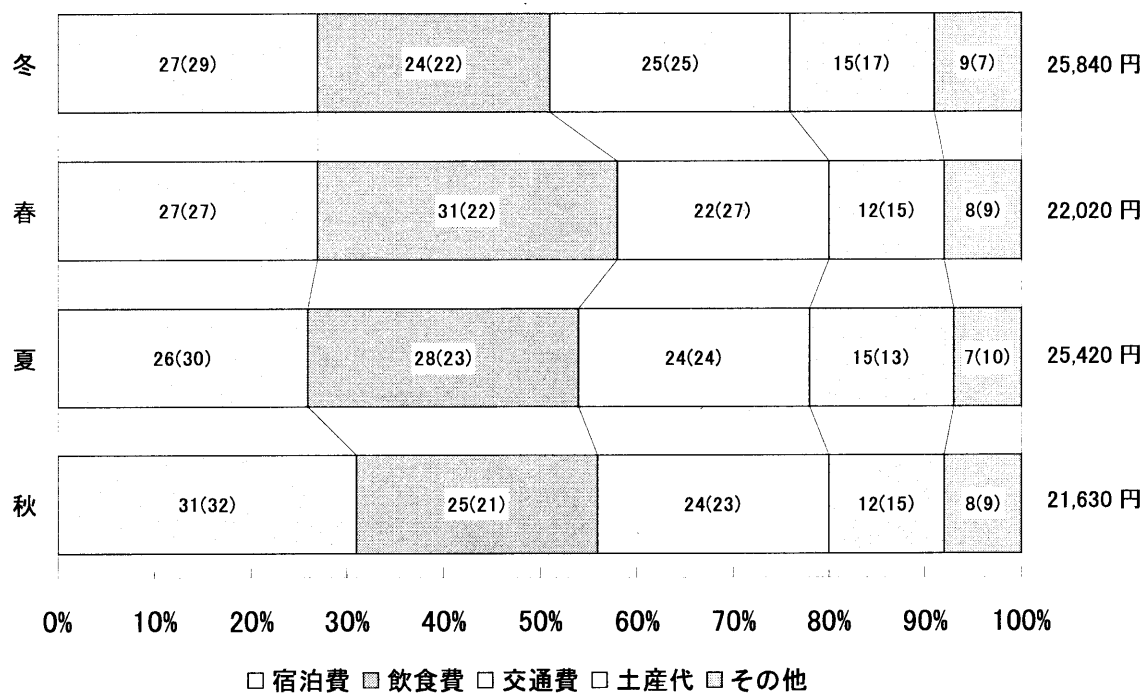
宿泊費、交通費、土産代などは前年とほぼ同じ割合だが、飲食費の割合が大きく伸びた結果が出た。日帰り客、宿泊者とも「高知の食を楽しみたい」という観光客の声が寄せられた。昨年8月に旅行情報会社がまとめた宿泊旅行調査によると、「地元ならではのおいしい食べ物が多かった」という都道府県ランキングで本県は第一位に選ばれており、アンケート調査においても、カツオのタタキをはじめ、年間を通じて高知の食を評価する意見が多かった。この評価を大切にしつつ、カツオ以外の料理を県外客にどう伝えていくことが、次の課題と考えられる。

(図 3-16) 年代別県内消費額別割合 (%)

年代	費目	宿泊費	飲食費	交通費	土産	その他	平均金額
10 代	19年	21	31	30	10	8	21,160 円
	18年	25	22	27	18	8	24,920 円
20 代	19年	26	28	27	11	8	22,790 円
	18年	27	22	27	14	10	24,200 円
30 代	19年	28	28	23	13	8	22,170 円
	18年	29	23	25	14	9	25,450 円
40 代	19年	30	26	22	14	8	23,700 円
	18年	29	22	26	15	8	26,400 円
50 代	19年	26	27	23	16	8	25,170 円
	18年	32	21	23	16	8	27,470 円
60代以上	19年	31	24	23	14	8	27,800 円
	18年	30	22	23	15	10	29,440 円
全 体	19年	28	27	24	13	8	23,780 円
	18年	29	22	25	15	9	26,190 円

年代別県内消費額は、昨年と比較して全体平均で約 2,400 円程度下がった結果となった。50 代以上の世代の消費額は高いが、10 代～40 代世代を上げるための対策が必要である。「滞在型・体験型観光」の推進や、食事場所の情報提供、若い人が興味を持つような土産の開発など、観光消費の拡大を図るための関係者による検討が必要である。

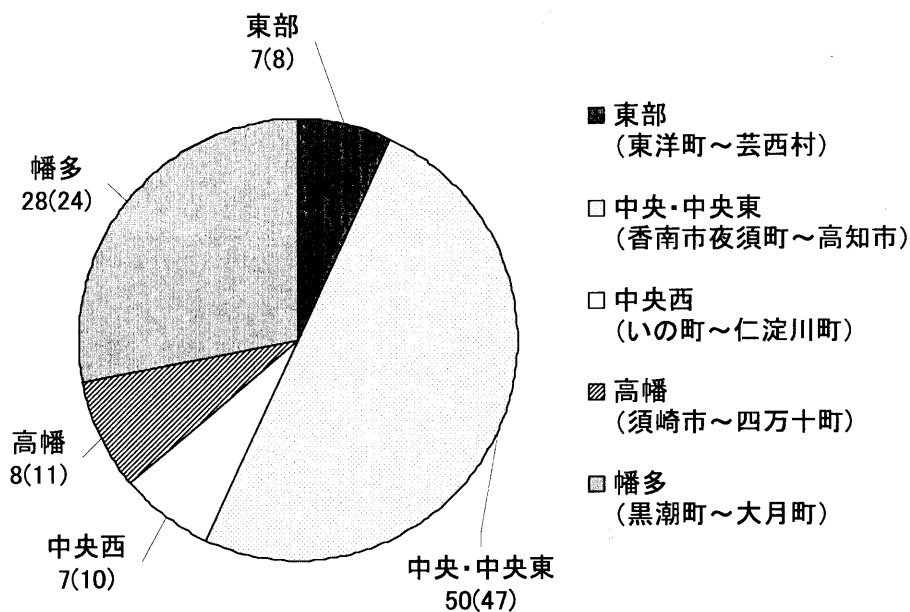
(図3-17) 四季別県内消費額別割合 (%)



四季別で県内消費額割合を比較すると、昨年と比べ大きく増えたのが春の飲食費で、その分交通費、土産代が下がっている。(図3-16)で前年より県内消費額が平均2,400円程度下がっていることを考えれば、飲食代の金額は前年と同じ程度使っているが、それ以外の金額が下がったために、飲食費の割合が上がったとも考えられる。

1.1 県内宿泊地割合

(図3-18) 県内宿泊地割合 (%)



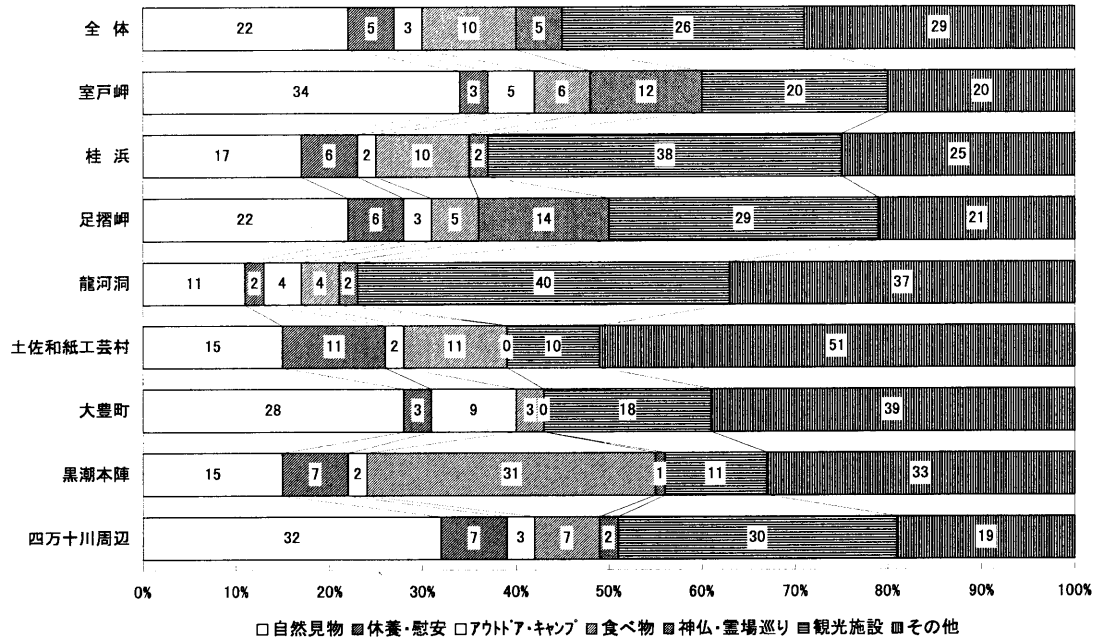
() は H18 年

今年から調査地点の変更があり、昨年とまったく同じ条件ではないことを前提にする。県内宿泊地の割合は、半数の 50% が中央・中央東となった。昨年と比較しても前年より 3% 多い。幡多方面も 4% 増加した結果となった。高幡・中央西は吾川地区で取っていたアンケートがなくなったので、数値が下がった影響が考えられる。

1 2 調査地別分析

旅行目的割合

(図3-19) 調査地別旅行目的割合 (%)



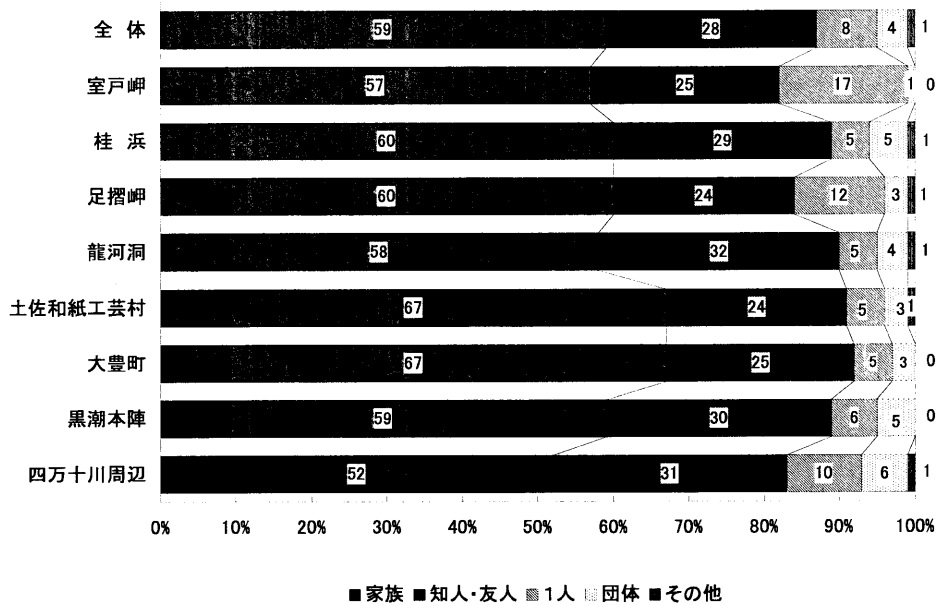
旅行目的割合によって、地域の特徴や特性がわかる。室戸岬・足摺岬は、神仏・霊場巡りが多いという数値になった。室戸岬は自然見物も多かった。

龍河洞や桂浜は、高知観光のスタートであり、観光施設の数字が高かった。大豊はアウトドア、ドライブが多く、嶺北地区の特徴を出している。

また、黒潮本陣は食べ物 が 31% であり、突出した数字になった。土佐和紙工芸村はその他が 51% となっているがその内訳の中でも帰省が多く、これは高知に帰省して観光する場合と、高知から帰省地（愛媛県や広島県など）へ向かう時の通過点という両面があったものと思われる。

旅行形態別割合

(図3-20) 調査地別旅行形態別割合 (%)

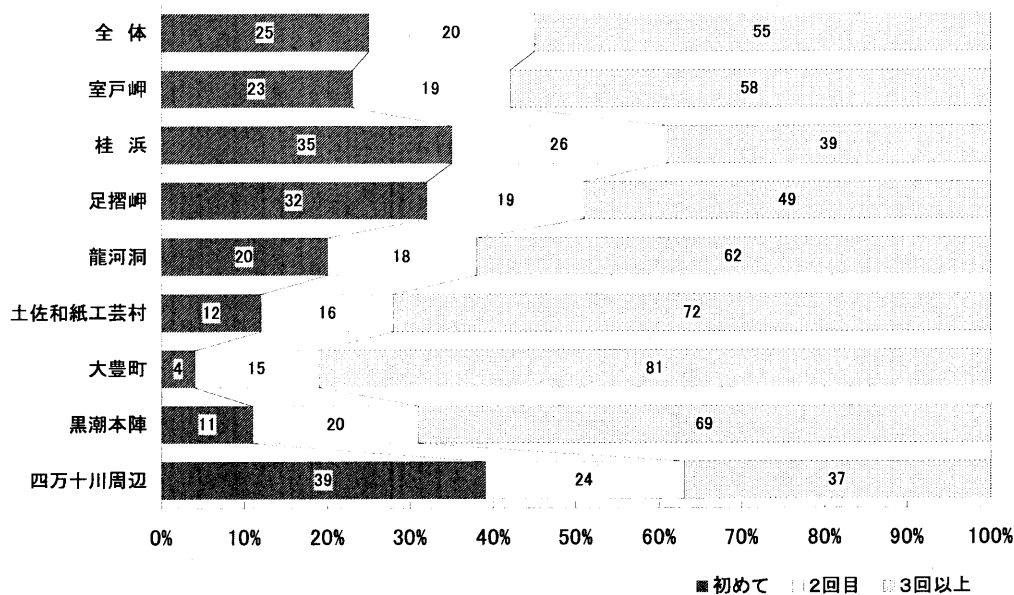


旅行形態別割合を見ると、家族旅行が約60%、友人との旅行が約30%とあり、個人旅行が中心となっている。室戸岬や足摺岬で一人旅行が多いのは、四国八十八ヶ所の遍路旅と、バイク旅行が考えられる。

桂浜、龍河洞、四万十川の団体旅行は旅行会社が主催するツアー（団体旅行）が多く、大豊や黒潮本陣などの団体は、地元の町内会や病院等のレクリエーションなど日帰り観光が多かった。

過去来県回数別割合

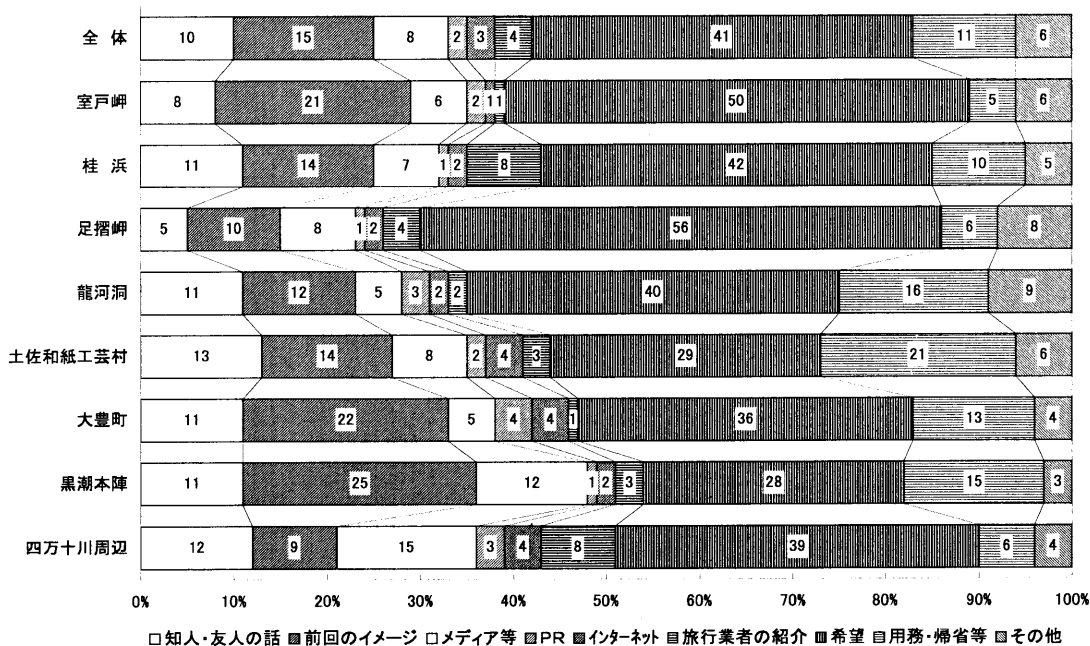
(図3-21) 調査地別過去来県回数別割合 (%)



観光客のこれまでの来県回数は、全体として初めて高知へ観光に来た方は25%、二度目が20%、三回以上が55%となっている。高知観光の入り口となる桂浜をはじめ、四万十川や足摺岬に、高知に初めて来た人が訪れる割合が高い。逆に、大豊（ゆとりすとパークおおとよ・道の駅大杉）や黒潮本陣、土佐和紙工芸村などは3回以上のリピーター率が高いのが特徴といえる。

動機別割合

(図3-22) 動機別割合 (%)



高知県（あるいは個別の観光地）を選択するうえで参考にした項目は、全体で知人・友人の口コミが10%、前回のイメージの印象からが15%、マスメディアによる紹介が8%、本人の来たかったという希望が41%となった。

黒潮本陣は前回のイメージが良く満足度の高さの表れではないだろうか。四万十川はテレビや雑誌などメディアを見て来る観光客が多かった。足摺岬は本人の希望が多く56%という数字になった。

【参考】 高知県を訪れた観光客の意見

※意見・感想を高知県観光動態調査から一部抜粋 意見の前の記号は、○=評価できる点、△=提案、改善が必要な点、◇=その他 に区分して表示

【 土佐人のイメージ 】

- 人が優しく、何を聞いても親切に答えてくれます。
- 居酒屋で飲んでいたら、普通に隣のテーブルの人が話しかけてきて面白かった。気さくな人柄、人があったかいと感じた。
- 高知の人は親切、人情がある。(以前、道を訪ねたら、そこまで車で送ってくれた)
- 人が元気、明るい。よさこいのパワーがすごかった。

【 高知県のイメージ 】

- 自然が豊か。海がきれい。温暖。ゆっくり、のんびりしている。
- 毎年、子どもが川で遊ぶのを楽しみにしています。海や山や川など、自然と遊ぶ場所がいっぱいある。
- 高知県は四国の中でも観光地がたくさんあると思う。
- △坂本龍馬やジョン万次郎など、歴史上の人物のイメージがある。もっと関連した施設や企画展などが沢山あれば、何度も来くるかも。

【食のイメージ】

- 魚、うなぎ、鯨、野菜。何でも食べ物が美味しい。カツオが美味しい。
- 高知には食（カツオのタタキ）を楽しみに来ました。とても美味しかったです。
- 普段、魚を全く食べない子どもが、黒潮本陣のカツオのタタキなら喜んで食べます。
- 食べ物が美味しい。清水サバとか地場のものを美味しく食べれるところや、旬の美味しい果物を買えるところを知りたい。
- 四万十の川海老が美味しかった。ここの天然鰻を毎年食べに来ています。
- 高知の魅力は美味しい食と酒と人情。

【 おもてなし 】

- △道の駅の食事を出す順番が後回しになったのでクレームをつけたが、謝り方にも誠意がなかったので一段と腹がたった。
- 旅館の対応が素朴で良かった。
- 旅館の対応がとてもよく、食事も美味しかった。これならまた来たいと思った。
- △ホテルの人が観光の案内に全然積極的でないのに驚いた。(聞いてもわからないと言われてたり、貼り紙を見せるだけで説明してくれない)
- ビジネスホテルがとても安いのにきれいなので驚いた。対応も良かった。
- △お土産物店が夕方 5 時に閉まる観光地がある。観光シーズンには観光バスがその後も入って来るのに。もっと観光客を大切にしたらいいのと思う。
- △温泉と川遊びを楽しみに家族で来たが、着いてから温泉が故障で入れず、川の水もほとんど無いことがわかった。事前にそういった情報を全く提供してくれない宿の姿勢に、家族全員ブルーになりました。

【 情報 / 案内板 】

- △四万十川の観光ポイントがわからない。期待はずれで、もう二度と来たくないと思った。
- △高知はいいところがあるのにPRが足りないのでは？大まかなありきたりの宣伝より、高知らしさが伝わる個性的なところの紹介をしてほしい。
- △初めての人にはアクセスの情報が少なく、わかりづらい観光地だと思います。全体の位置関係と、いろんなケースにあわせたモデルルート、所要時間などの情報があるとわかりやすいです。
- △この時期は何が旬とか、地元ならではの食べ物は何かとか、それは何処で買えたり食べられるのかとか、知る場所がほしい。
- △観光地で高知の全体の位置関係がわかる案内板も欲しい。
- △道路案内板があるところは、無駄に多くあるし、無いところは全然ない。もっと、使う側の立場になって適切に誘導できるよう考えて設置したらどうだろう。
- △初めての人には案内板が少なくわかりづらいかも。分かれ道とか必要な個所にポイントをおさえて標示して。あと、時間や距離の標示を一緒に。
- △観光地の案内板が現地近くにしかないのも、もう少し手前から誘導して欲しかった。
- △道の駅等で、周辺の観光スポットがもっと魅力的に伝わる看板などがあれば、そこにむかって行くのではないかな？ガイドブックにのっていない、地元の情報が欲しい。
- △イベントなどの時も、会場の入口だけでなく、もっと案内板を出して手前から誘導して欲しい。Tシャツアート展につくまでに不安だった。
- △紙の鯉のぼりのイベントの表示が国道の通りになかったのも、通り過ぎてしまいました。せつかくのイベントなのにもったいない。観光立県としてはとても配慮不足だと思います。
- △川バス待ち合い場所に案内がなく、どうやって並んで待つていいのか皆困っていた。

【 設備/美化 】

- 以前に比べて、トイレもゴミもキレイにしていると思う。
- △足が不自由な人の為に、貸出の車椅子が観光地で用意されていると助かる。
- △高知県の観光地はバリアフリーの整備が遅れていると思う。階段とか年寄りに危険な場所が多い。
- △車椅子で見るルートがあるのか、観光地の入口で判断できる標示がほしい。(足摺岬で途中、舗装がなくなりあきらめた)
- △休憩所の赤ちゃんのオムツを替える場所が少ない。
- △観光地はキレイだが、道ばたにゴミが多い。
- △公共のトイレは洋式が少ないので、もっと増やして欲しい。
- △宇和島から四万十川まで休憩所がなく、やっと見つけたトイレも汚くて入れなかった(ゴールデンウィーク中)
- 観光地のトイレは思ったよりキレイ。道の駅やコンビニが増えたので、不便は感じない。
- △高知は陽射しが強いので、観光地にもっと日陰や休憩できるスペースがあればいい。
- ◇高知は郊外の自然の緑は豊かなのだが、街中とか街路樹とかの緑がないのはどうしてですか。
- △子どもが喜ぶ施設があつたら、もっと来る。自然の中で遊ぶには良い環境だが、雨など天候が悪い時に連れて行く場所がない。安心してゆっくり子どもが過ごせる施設があれば助かる。

【 交通事情 】

- △公共交通機関が不便。種類も便数も少ない。車でなければ、行きたいところになかなか行けないなど感じた。
- △早く高速が延びて欲しい。高知は東西に長く、観光地が離れているのでインフラの整備は絶対必要でしょう。
- ◇高速やトンネルで便利になって欲しいと思う反面、そういった道ばかりになってしまうのは景色を楽しめないのが残念に思う。
- ◇国道なのに、とても狭く走りづらい道がありビックリした。(特に山中の道)
- △四国に渡る橋がもっと安くなれば、もっと人が来ると思う。
- △四万十市方面に行く途中、見どころが何もないうまま延々と走る気がする。高知は海のイメージがあり、せめて景色が良ければと思うが。
- △電車道路がわかりづらく、車線変更や割り込みが多いので驚いた。
- △渋滞していると思ったら、高齢者運転マークをつけた車がゆっくり走っているだけだった。安芸室戸方面は追い越し車線がない1本道が長く続くが、何か対策はないだろうか。
- △夜須、いのの自然渋滞を解消して欲しい。
- △バイクの為の駐車場をかまえてないところがある。
- △高知の車は左側ギリギリを走る車があるのでバイクには走りづらかった。
- ◇信号が少ないので北海道なみに走りやすい。景色もよいのでツーリングには最適。
- △サイクリングロードをもっと整備したら、四万十川をじっくり見てもらうことができるのではないかと。せっかく県外から多くの人に来ているのにもったいない。

【 その他 】

- △お菓子とかありきたりのお土産ばかりでなく、地場産品をいかしたお土産がもっとあってもいいと思う。視点を変えてお土産を考えてみて。
- 道の駅に併設されているような農産物の直販所はとてもいい。新鮮で旬の地元の物が生産者の顔や名前がわかる形で販売されているのは、魅力的。
- △高知は交通費はかかるけど、現地でお金を使いたいと思う所があまりない。
- △高知はいい自然がたくさんあるのに観光に活かされていないのでは。私は瓶が森線など、より自然が感じられる道が好きだ。
- △田舎寿司とか自然とか、素朴な良さを伝えたらいい。思ったより方言を聞けないのが残念。
- △都会の人にとって、高知県の自然はとても魅力的。カヌーや、サーフィン、ツーリングなど、もっと的をしぼったPRをしたら効果的かも。そして、そういったアウトドアで来た人が気軽に泊まれる宿が必要。
- △大正市場が年々観光地化して、値段も高くなりつまらなくなった。以前はおばちゃんたちとのやりとりが楽しく、人にもたくさん口コミしたのだが。

問8. 今回の旅行の日程(予定を含む)について教えてください。

1. 日帰り 2. 1泊2日 3. 2泊3日 4. 3泊4日 5. 4泊5日 6. 5泊以上

【限定質問】 高知県内での宿泊 宿泊場所(市町村)別、宿泊施設の種類の別 に宿泊数を教えてください	宿泊場所(市町村)	宿泊数	宿泊施設種類	宿泊数
	1 東部地域 (東洋町～芸西村)		1 ホテル・旅館	
	2 中央・中央東地域 (香南市～高知市)		2 公共の宿	
	3 中央西地域 (いの町～仁淀川町)		3 キャンプ場	
	4 高幡地域 (須崎市～四万十町)		4 民宿・ユースホステル ライダーズイン	
	5 幡多地域 (黒潮町～大月町)		5 実家・知人宅	
※ 地域は問9の選択肢を参考にしてください			6 その他(テント・車中泊等)	

問9. 今回の旅行で訪れる主な観光地について教えてください。

高知県に入ってから当地に来るまでに訪れた(または、これから訪れる予定の)主な観光地・施設について訪れた順番に教えてください。

1	6	11
↓	↓	↓
2	7	12
↓	↓	↓
3	8	13
↓	↓	↓
4	9	14
↓	↓	↓
5	10	15

選択肢コード

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15

選択肢コード	東部地域			中央・中央東地域				中央西地域			高幡地域		幡多地域				
	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	
	東洋町・室戸市	村野利安田	奈半町・利安田	安芸市・芸西村	香南市	香南市・香南市	大町・本山村・土佐町・大豊	高知市	いの町	土佐市・日高村・春野	佐川町・仁淀川町・越知	中須崎市・津野町	橋原町・四万十町	四万十町	黒潮市・三原	宿毛市	大月町・清水市

問10. 今回の旅行にかかっている一人あたりの費用について教えてください。

- 1 県内にお住まいの方

総予算で 円くらい

(内訳)	十万	万	千	百
1 宿泊費				
2 飲食費				
3 交通費				
4 土産代				
5 その他(入場料など)				

- 2 旅行代理店の旅行パックを利用している場合

	十万	万	千	百
1 旅行代金1人あたり				
2 土産物、飲食など「1」の旅行代金以外				

- 3 県外にお住まいの方

総予算で 円くらい

(うち高知県内 円)

(内訳)	十万	万	千	百
1 宿泊費				
2 飲食費				
3 交通費				
4 土産代				
5 その他(入場料など)				

問11. ご意見・ご感想 (他県と比べて良い点、悪い点等もお聞かせください)

※冬季は「この季節に高知へ来られた主な理由、高知の魅力など(冬季観光対策の参考意見として)」をお聞かせください。

※ご意見をお聞かせください。

該当に○をしてください

- 1 交通機関の対応 1非常に対応がよい 2まあ対応がよい 3普通 4やや対応が悪い 5非常に対応が悪い ※タクシー・バス・電車・汽車・その他
- 2 旅館ホテルの対応 1非常に対応がよい 2まあ対応がよい 3普通 4やや対応が悪い 5非常に対応が悪い
- 3 観光案内板・誘導板について 1非常にわかりやすい 2まあわかりやすい 3普通 4ややわかりにくい 5非常にわかりにくい
- 4 トイレについて 1非常にきれいであった 2まあきれいであった 3普通 4やや汚い 5非常に汚い
- 5 美化・景観について 1非常にきれいであった 2まあきれいであった 3普通 4ややごみが多い 5ごみが多く景観が悪い

ご協力ありがとうございました